

開高健ノンフィクション賞

小説家で、日本のノンフィクション文学に大きな足跡を残した開高健氏を記念し、2003年に集英社が創設。日本語で書かれた未発表もしくは未刊行のノンフィクション作品が対象。現在の選考委員は姜尚中・田中優子・藤沢周・茂木健一郎・森達也。

2015年 第13回



五色の虹

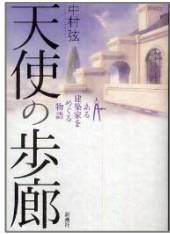
三浦 英之著
集英社
B280ミ
篠崎ほか所蔵

1934年に創立された満州国最高学府・建国大学。五族協和を实践すべく、中国・モンゴル・ロシア・韓国・日本のスーパーエリートが特別教育を受けていた。アジアの将来を牽引するはずだった彼らは、敗戦により散り散りとなる。数少ない存命者の証言をたどり、検証を経て世に出されたノンフィクション。

日本ファンタジーノベル大賞

三井不動産販売株式会社「創立20周年記念事業」の一環として、昭和63年に創設された。夢と冒険とスリルに満ちあふれたファンタジー小説を募集。心豊かな夢やロマンを掘り起こし、感性豊かな暮らしを創造することを主旨とする。

2008年 第20回



天使の歩廊

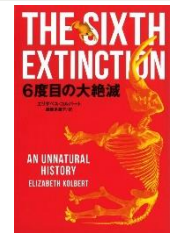
中村 弦著
新潮社
Fナ
篠崎ほか所蔵

建築家・笠井泉二は一風変わった建物を造り出す。死者と永遠に過ごせる部屋や、異次元に通じる家など。現実と非現実の境界を超えるその建物に依頼者はみな魅了される。なぜ泉二はこのような設計ができるのか？ 彼は何者なのか？ 不思議な世界に引き込まれます。

ピュリッツァー賞

米国の新聞経営者ピュリッツァーの遺言により1917年に設けられた賞。「言論のノーベル賞」「ジャーナリズムのアカデミー賞」とも呼ばれる。毎年、報道、文学、音楽の各部門ですぐれた社会的功績をあげた作品に授与される。

2015年 一般ノンフィクション部門



6度目の大絶滅

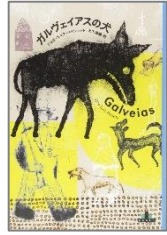
エリザベス・コルバート著
鍛原 多恵子訳
NHK出版
467コ
篠崎ほか所蔵

地球上で、大量絶滅は今までに5度あったという。そして、現在6度目が進行中。このままでは2050年には、種の半分が消えてしまうかもしれない。パナマの黄金のカエルに何が起こったのかなど、絶滅の最前線の事実を突きつけられて愕然とするが、希望を見出すためにぜひ読んでいただきたい1冊です。

日本翻訳大賞

前年の12月1日～本年の12月末までの13ヶ月間に発表された翻訳作品中、最も賞讃したいものに贈る賞。一般読者の支援を受けて運営し、選考にも読者の参加を仰ぐ。選考委員は金原瑞人・岸本佐知子・柴田元幸・西崎憲・松永美穂の各氏。

2019年 第5回



ガルヴェイアスの犬

ジョゼ・ルイス・ペイショット著
木下 眞穂訳
新潮社
969へ
篠崎ほか所蔵

ポルトガルの小村ガルヴェイアスに突然落下した巨大な何か。異臭に包まれた村で、次々と暴かれていく村人達の生活。彼らの心情や詳細な村の風景がじわりじわりと迫ってきて、いつしか自分がこの村に絡めとられるような錯覚に陥る。

中山義秀文学賞

平成5年4月に大信村(現白河市大信)に設立された「中山義秀記念文学館」の開館を記念して創設された文学賞。日本の歴史を素材とした文学作品(歴史・時代小説)の中から、もっとも優れた作品に与えられる。

2016年 第22回



眩(くらら)

朝井 まかて著
新潮社
Fア
篠崎ほか所蔵

葛飾北斎の娘で、絵師として活躍し葛飾応為と号したお栄の物語。父・北斎の病気や甥の素行不良による借金、最愛の人の死など幾多の困難を乗り越えて成長していく姿を描く。苦しい時も好きな絵を描き続け、父を補佐し、自らも傑作を残したお栄の生き様に惚れました。

紫式部文学賞

宇治市が「源氏物語」最後の十帖の舞台となっていることから、源氏物語をテーマにしたまちづくり推進の為に創設された。伝統ある日本文学の継承と発展に寄与するとともに、市民文化の向上に資することを目的としている。女性作家の作品が対象。

1992年 第2回



きらきらひかる

江國 香織著
新潮文庫
BFエ
篠崎ほか所蔵

二人は全てを許しあって結婚した。ゲイで恋人のいる夫とアルコール依存症の妻。まだLGBTという呼称もなく、セクシャルマイノリティに偏見があった90年代の作品です。周囲から理解が得られなくても、それぞれを認め合い心を通わせる三人の姿に胸を打たれます。

本格ミステリ大賞

平成12年、本格ミステリに関わるクリエイターによって設立された本格ミステリ作家クラブが、本格ジャンルの発展を図るため賞を設立。前年発表された作品の中から、小説部門、評論・研究部門の各々の年間最優秀作を表彰する。

2010年 第10回 小説部門



みずち 水魍の如き沈むもの

三津田 信三著
原書房
Fミ
篠崎ほか所蔵

奈良の山中にある水魍様を祀る村。雨乞いの儀の最中に密室で宮司が殺害され、その後も関係者が次々と襲われる。謎多き事件に、村の因習が絡まり事態は混迷を極めていく。この難事件に、作家・刀条言耶が挑む……。二転三転する展開にハラハラドキドキしました。

この賞、知っていますか？

優れた文学作品に贈られる文学賞。国内外に数ある中から一部を、受賞作と共に紹介します。対象の分野や地域は様々。「聞いたことはあるけれど、どんな賞なのか知らない……」「こんな賞があったなんて！」そんな感想を抱きながら、今後チェックしたくなるものを見つけていただければ幸いです。

PEN/フォークナー賞

アメリカのPEN/フォークナー財団が毎年、優れた小説の作者に贈る。存命のアメリカ国籍の著者による作品を対象とし、選考にあたるのは財団が任命した作家3名。財団名は、小説家ウィリアム・フォークナーの名前から取っている。

2012年



屋根裏の仏さま

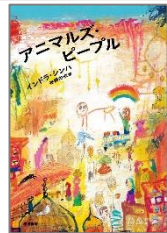
ジュリー・オオツカ著
岩本 正恵ほか訳
新潮社
933オ
篠崎ほか所蔵

夫となる人の写真だけを頼りにアメリカに嫁いでいった、100年ほど前の日本の娘たち。失望とともに始まった結婚生活、厳しい労働、子育て、日米開戦……彼女たちのいくつものエピソードが、「わたしたち」を主語に淡々と語られます。日系アメリカ人である著者による痛ましくも美しい中編小説。

コモンウェルス賞

アメリカを除いた旧イギリス領植民地の英語で書かれた文学をコモンウェルス文学といい、コモンウェルス財団が1987年に設立した。現在は長編作品を対象とした賞は中止になり、「コモンウェルス短編小説賞」が毎年選出されている。

2008年



アニマルズ・ピープル

インドラ・シンハ著
谷崎 由依訳
早川書房
933シ
篠崎ほか所蔵

「おれはかつて人間だった。みんなはそんなふうに言う」記者の録音テープはそう始まる。語り手の青年をスラム街の人々は「動物」と呼ぶ。汚染事故の後遺症で四本足での生活を送っているからだ。インドで実際にあった汚染事故を下敷きに、主人公の不遇と苦悩をユーモラスに描く。

全米図書賞

全米図書財団が主催。アメリカ国民による前年12月から授与年の11月までに国内で刊行された作品が対象。小説、詩、ノンフィクション、児童書の4部門がある。

2007年 児童文学部門



はみだしインディアンの
ホントにホントの物語
シャーマン・アレクシー著
さくま ゆみこ訳
小学館
J933ア
篠崎ほか所蔵

インディアン保留地に住む少年が、部族で初めて白人の学校に通い始める。地元では裏切り者呼ばわりされ、学校では浮きまくるが……。知恵とユーモアと仲間を味方に、人生の可能性を広げていく彼の日々を綴った「78%が事実」の自伝的小説。